

保護者各位

杉並保健所からのお知らせ



～子宮頸がんから命を守るワクチンをプレゼント～



中学入学お祝いワクチン

子宮頸がんは、子宮の入り口にできるがんで、「ヒトパピローマウイルス(HPV)」の感染が原因です。国内では、年間8000人以上が発症し、約2,500人が死亡していると言われています。

罹患者は30～40代が多く、最近では20～30代の若い患者が増えています。

この子宮頸がんを予防するワクチンが、厚生労働省の製造販売承認を得て、平成21年12月に販売開始となりました。このワクチンは、10歳以上の女性が接種対象で、中学生段階(11～14歳)が最も予防効果が高いとされています。

半年以内に3回の接種が必要です。

区では、子宮頸がんが、ワクチン接種と検診を行うことで、ほぼ100%死亡を防止できることから、中学進学者の女子(平成9年4月2日生まれ～平成10年4月1日生まれ)を対象に、必要とされる3回分のワクチン接種の全額助成を行います。

助成制度の開始は、夏ごろを予定しています。事業開始時には、杉並区に住民票のある、対象者の保護者に、ご案内します。接種時期や医療機関等の詳細につきましては、決まり次第、広報等でお知らせいたします。

助成制度開始前に子宮頸がんワクチン接種を行った場合は、助成の対象になりませんので、ご注意ください。



問い合わせ先：杉並保健所 健康推進課

住所 杉並区荻窪5-20-1

TEL 03-3391-1015